

平成22年度 6月補正予算案の概要

京 都 府



編成の基本的な考え方

◆今回の補正予算は、

緊急経済・雇用対策をはじめ緊急課題への対応 とともに、

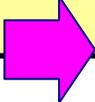
3期目のスタート予算として、 希望の京都の実現

に向け、当初予算の取組をさらに進めるなど、

「未来への投資」を重点的に行う。

緊急経済・雇用対策を
はじめ緊急課題への対応

- ◆京都の経済環境は、一部消費や製造業に持ち直しの動きが見られるものの、その効果は未だ中小企業には及んでいない状況
- ◆その上、ギリシャの財政危機などに起因する急激な円高により、輸出関連企業等への影響も懸念される状況が生まれつつある
- ◆そのような中で、中小企業等の経営や地域の雇用については、厳しい状況に立ち向かうための新たな支援が必要



緊急経済・雇用対策

◆「口蹄疫」問題については、現在消毒の徹底等予防対策に万全を期しているが、長期化に伴う農家の負担軽減や、万一の発生時における初動体制などの備えが必要

口蹄疫対策

◆サルなど野生鳥獣による農作物等の被害が、さらに深刻化

野生鳥獣被害対策



緊急経済対策

不安定な経済状況に対応するため、相談体制を充実するとともに、融資枠を拡大し、今後の資金需要に備える

中小企業緊急金融支援事業

拡

預託金150億円

◆中小企業ワンストップ金融相談会

- ・オール京都体制の相談会を府内8カ所で開催

◆制度融資の融資枠拡大

追加融資枠450億円

- ・経済変化に対応できるよう「不況対策緊急融資」などの融資枠を拡大

全体として景気に明るいきざしが見えはじめる中、未だその光が届きにくい中小企業に対する支援を行う

中小企業活路開拓緊急事業

新

150百万円

- ◆ 販路拡大や商品改良等を人材・資金の両面から支援
 - ・ 活路開拓サポート人材の確保
 - ・ 展示会の出展経費、商品改良、試作品作製等に助成

発行総額が8億円に上る好調なプレミアム商品券発行の支援を拡大し、内需拡大を図る

地元商店街販売促進緊急サポート事業

新

51百万円

- ◆ 商店街による販売促進活動を人材・資金の両面から支援
 - ・ 賑わいづくりイベント、プレミアム商品券の発行などへの助成等



緊急雇用対策

緊急雇用創出事業

1,819百万円

いまだ経済の改善効果が至らない
地域に密着した雇用を生み出す

◆地域における仕事づくり

- ・地域の雇用創出を図るため、市町村へ重点配分

いまだ明るさの見えない分野において
重点的に雇用を生み出す

◆重点分野における仕事づくり

- ・中小企業、商店街、農林水産業等各分野の雇用創出

福祉と雇用の連携による生活支援

ライフ&ジョブカフェ事業

新

53百万円

- ◆ワンストップ総合窓口の設置
- ◆就業相談員の新規配置や職業訓練の内容強化
- ◆住宅、生活福祉資金貸付、生活保護等に関する相談
(開設箇所) 京都ジョブパーク

本年秋からスタート

生活福祉相談・就労支援強化事業

新

90百万円

- ◆各市町村社会福祉協議会に生活就労相談窓口を設置し、生活支援を強化
 - ・支援員を増員し、相談者の状況に応じて、生活保護等の手続と就労支援との一元的な対応を実施

保育と雇用の連携による生活支援

マザーズジョブカフェ事業

新

29百万円

本年夏からスタート

◆総合コーディネートの実施

* ママさんコンシェルジュが「就職行程表」を作成し、きめ細かく支援

◆就職活動中の一時保育の提供

◆就業相談や母子福祉相談の開設時間の拡大

◆保育付き就職訓練の実施

(開設箇所) 京都府男女共同参画センター



その他の緊急対策

口蹄疫防疫追加対策事業

臨

30百万円

◆徹底した発生予防と長期化への備え

- ・農家の負担軽減のため、消毒剤の配付や噴霧器等資機材の整備助成

◆発生時の初動体制のための備え

- ・移動・搬出制限を行う際に設置する消毒ポイント用資機材の整備

* 消毒剤噴霧器、防護服など

野生鳥獣被害総合対策事業

新

91百万円

◆捕獲の担い手である狩猟者の確保

- ・地元消防団員や警察OBなどへの勧誘活動、猟具整備など

◆地区ぐるみで取り組む防除活動の支援

- ・サル対策の強化(モンキードッグの養成や追い払い資材の活用)
- ・防護柵の点検補修、バッファゾーン整備などの実施

1,000人の担い手を確保

“希望の京都”の実現



“希望の京都”の実現

- ◆当初予算は、骨格的予算として、雇用・経済情勢を踏まえ、府民の「暮らしを守る」対策、「生活を支える」対策、4月から取組が必要な「人への投資」を中心に編成し、積極的な予算は原則補正対応に。
- ◆今回の補正予算では、これら「守る」「支える」取組について、「希望の京都」の実現に向けた積極面からの施策を追加するとともに、「未来への投資」を重点的に行う。

くらしを「守る」



いのち

生命を守り、高齢者、障害者を守る

京都式地域包括ケア推進事業

新

482百万円

本格的な高齢社会に備え、福祉・医療・介護の一体的なサービスネットワークを構築し、住み慣れた地域でのケア体制を整備

◆地域包括ケア実施体制の整備

- ・地域でのケア体制を担う関係者による実施委員会の設置

◆担い手の育成

- ・医療・介護双方の専門知識を備えた人材の育成
- ・地域の在宅医療を支える総合診療医の養成

◆基盤整備

- ・特別養護老人ホームの整備
- ・バリアフリー化された高齢者専用の賃貸住宅の確保

障害者を支える地域づくり推進事業

新

9百万円

- ・保健所を中心に、地域ぐるみで障害者の日常生活を支える障害者生活支援サポーターの育成



雇用を守る

ライフ&ジョブカフェ事業

再掲

生活福祉相談・就労支援強化事業

再掲

マザーズジョブカフェ事業

再掲



教育を守る

私立学校教育支援事業

新

420百万円

◆私立学校の経常的経費への追加助成措置

- ・高校の授業料全免については、所得状況を把握した結果、相当者数の増加が予想される。このため、全免者数も勘案し、地方交付税の算定額を踏まえた経常費の重点追加配分を実施



青少年を守る

児童ポルノ規制条例検討会議の設置

新

◆児童ポルノの被害拡大を防ぎ、被害児童の人権を守るための条例を検討

・外部有識者による条例検討会議を設置

1百万円

ネットいじめ対策事業

新

◆社会問題化している学校裏サイト等のネット監視

・書き込み等を発見した場合、削除依頼

5百万円



環境を守る

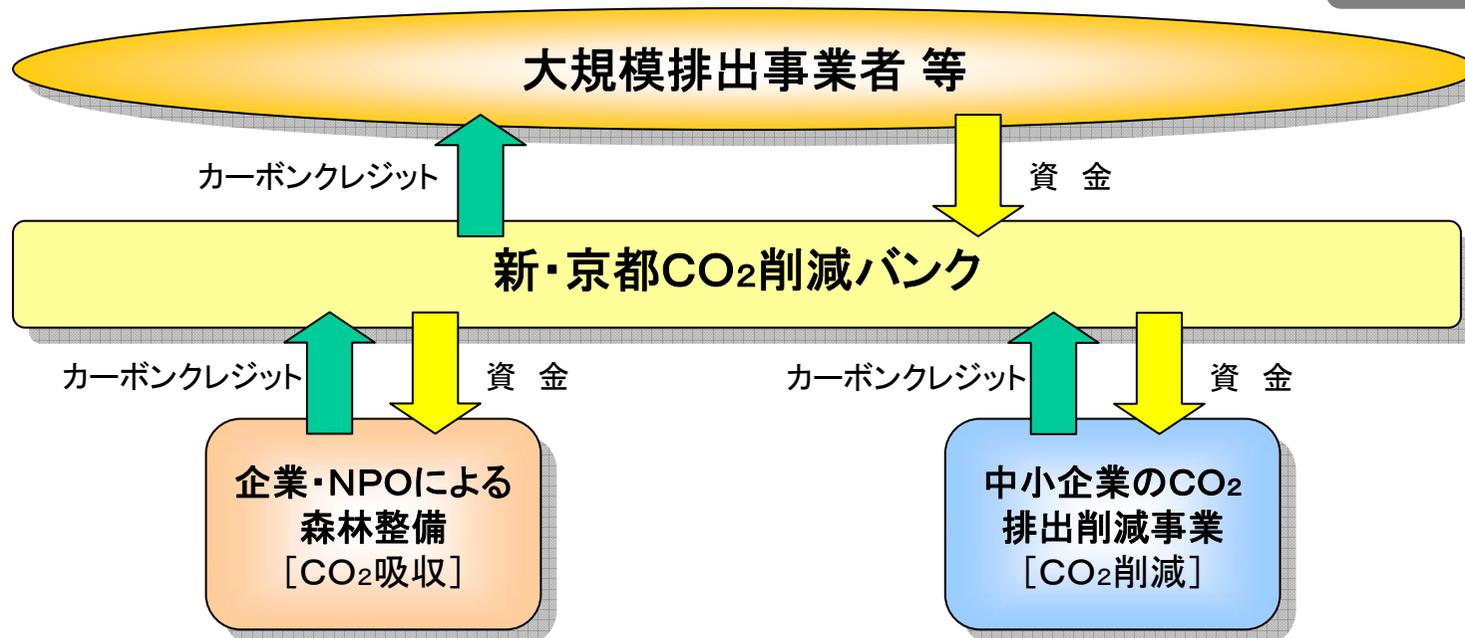
京都版CO₂排出量取引制度推進事業

新

◆ 京都版CO₂排出量取引制度の構築に向け、実際にカーボンのクレジット(CO₂削減・吸収量)を活用した取引を実施しながら制度を確立

- ・ 中小企業の省エネ対策によるCO₂削減量の取引
- ・ 企業・NPO等が行う森林整備によるCO₂吸収量の取引

7百万円



生活を「支える」



子育てを支える

待機児童解消促進事業

1,341百万円

◆ 保育所の新設・増築に対する助成 (拡)

486人の定員増

◆ 保育ママ支援事業 (新)

・家庭的保育(保育ママ)事業を行う市町村の施設整備や運営に対する助成

子育て支援等福祉医療制度充実検討事業

(拡)

◆ 子育て支援医療等福祉医療の拡充や見直しを検討

1百万円



農業を支える

農業経営体育成事業

新

63百万円

◆新たな農業ビジネスを目指す経営体を支援

- ・ビジネスプランの作成支援や農業生産・食品加工施設の整備等に対して助成

4年間で20経営体を育成

野生鳥獣被害総合対策事業

再掲

「未来への投資」



京都未来を担う人づくり事業

「京の介護・福祉」未来を担う人づくり推進事業

拡

- ◆介護・福祉事業所の職員が、高度な資質向上の研修を受講する際の代替職員を派遣
- ◆この制度により、代替職員が、派遣期間中のOJTで介護ヘルパー2級等の資格を取得する効果も図る

128百万円

100人の雇用創出

「京の海」未来を担う人づくり推進事業

新

21百万円

- ◆将来の漁業の担い手となる人材を確保・育成

10人の雇用創出



京都の中小企業支援対策事業 新

総額66億円

うち50億円は預託金

京都産業育成機構(仮称)設立事業

- ・府、京都市、経済界の枠組みを超え、中小企業の育成を強力に推進するオール 京都の体制を構築するための組織を設立

1百万円

中小・中堅企業等成長支援投資事業

- ・成長が見込める分野に挑戦する企業に対して幅広く経費助成
- ・150億円の新規融資枠

6,002百万円
うち5,000百万円預託金

京都企業戦略的共同研究推進事業

- ・成長分野の新製品開発を目指す共同研究を支援

480百万円

京都企業アジア市場開拓支援事業

- ・上海に「東アジア中小企業市場開拓支援センター」を設立し、京都企業のビジネス展開を支援

54百万円

京もの文化イノベーション事業

- ・伝統工芸の技や知恵を活かした新製品の創造と販路拡大を支援

10百万円



北山文化環境ゾーンの整備

新総合資料館(仮称)整備事業

新

487百万円

◆資料館機能の充実、国際京都学センターの設置等

* 22年度基本・実施設計

26年3月供用開始予定

教養教育共同化施設(仮称)整備事業

新

140百万円

◆府立大、府立医大、京都工芸繊維大の3大学による教養教育共同化

* 22年度基本・実施設計

26年3月供用開始予定

植物園再生事業

新

185百万円

◆魅力アップにつながる施設整備

・ボタニカルウィンドウ、森のカフェ、伝統園芸展示場、電気・水道修繕等

* 23年度完成予定

* 24年～ 既存エリア改修、魅力展示施設整備



集客・交流基盤への投資

JR奈良線複線化事業推進事業

新

10百万円

◆JR奈良線の複線化を推進するため、京都府と沿線市町が一体となって、整備計画の策定及び利用促進活動を展開

* JRは用地の測量等別途事業を実施

普通建設事業

8,394百万円

◆農林水産業基盤整備

◆生活・交通基盤整備

◆安心・安全のための整備

* 府民公募型安心・安全整備事業は、4月からの公募状況に伴う必要額を計上(1,600百万円)

◆福祉・教育・医療のための整備

◆その他 * 北山文化環境ゾーン整備 等

【普通建設費(6月補正後)】

対21年度当初 89.9%

直轄事業除き 92.9%

(参考)

地方財政計画 84.8%

【府債残高の適正管理】

公債費プログラムは、平成25年度に府債残高が減少に転じるよう計画どおり管理



「みやこ」づくり地域戦略事業

◆京都府の北から南まで、それぞれの地域が持てる資源と個性を活かして、「みやこ」となるための構想等の策定や実現に向けた事業を展開

◇丹後・食の王国構想

1百万円

* 府、市町等関係者による協議会の設置と丹後の食の魅力発信

3百万円

◇北京都ものづくり拠点構想 *ものづくり人材育成や試作開発支援

◇由良川里山回廊構想

1百万円

* 府、市町等関係者による協議会の設置と里山文化の発信

◇京都丹波食と森の交流の都構想

1百万円

* 府、市町等関係者による協議会の設置と食と森の文化に関する資源調査

◇新京都伝統工芸ビレッジ構想

* 産学公連携の人材育成等

2百万円

◇けいはんなエコシティ環境未来都市創造

658百万円

* 省エネ技術を導入した施設整備等による環境産業の育成・集積

◆このほか、各みやこづくり構想について事業実施



補正予算の規模

一般会計 33,153百万円

6月補正後予算額 882,424百万円

〔【対21年度当初比】 総額 104.0% 〕

〔【参考】 地方財政計画 99.5%
うち地方一般歳出 100.2% 〕